４回生　地域課題探究（L 探究）初期指導

令和３年(2021 年)４月２０日（火）／５月６日（木）／１３日（木）

1　ガイダンス（4/20）

全４回生が体育館に集まり、グローカル事業の意義や目的、一年間のスケジュールの説明がなされました。今年度は、ＧＩＧＡスクール事業により導入された Chrome Book を活用し、昨年度まで紙を使っていた意識調査をアンケートフォームにより実施しました。

今年度の４回生は課題探究への期待が高く、76%もの生徒が「わくわく」、「まあまあ」も含めると 97%もの生徒が前向きに捉えています。「地域との協働～」事業１、２年目における生徒たちの活動が、下級生に好い影響を与えている様子を見て取ることができました。

	R1 ４回生	R2 ４回生	R3 ４回生
わくわく	30	12	54
まあまあ	33	41	15
しぶしぶ	9	16	2
いやいや	2	3	0

2　探究班編制（5/6）

大型連休の課題として、前年度までの探究キーワード調査だけでなく、大学の研究者による講義動画の視聴を加えました。生徒たちは連休中の成果を踏まえて、探究キーワードを各自ひとつずつ設定します。その言葉をＡ３の用紙に大きく記入し、体育館内で仲間を探します。本校の課題探究ではすっかりおなじみとなった「ヒッチハイク方式」です。

3　探究テーマ設定（5/13）

前回編成した探究班で２時間連続の活動です。個人で作成してきたアイデアマップ、分担して調べてきたことを活用し、探究テーマを考えていきます。この日は、想定している「理想の状態」から「現状」を引き算して「解決すべき課題」を導き出すことを目標に活動しました。一週間後にもう一度２時間連続の活動を行い、伴走の先生に現時点での考えをプレゼンする予定です。

（記録：太田）